謝辞

本稿は滋賀県立大学大学院環境科学研究科修士課程（環境計画学専攻）における研究成果を修士論文としてまとめたものである。

本論文を遂行するにあたり、他大学よりやってきた私を終始あたたかく見守ってくださり、そして御懇切なる御指導および研究への新たな視座と感興を賜りました滋賀県立大学環境科学部環境計画学部近藤隆二郎助教授に謹んで深甚なる謝意を表します。とくに個人的な思い入れから研究対象をインドのヴァラナシとした私に、同助教授が与えてくださった Dev Diwali 祭との出会いのおかげで、こうしてなんとか論文としてまとめることができました。また、ともすれば迷走を始めてしまう私に、常に進むべき道を御教示いただいたことが、研究をすすめる上で、何よりも心の支えとなりました。最高の GURU を得た喜びとともに、深く感謝いたします。

本論文を完成させるにあたり、詳細なご検討と、貴重な御意見を賜った同学科仁連孝昭教授に、深く謝意を表します。さらに、査読を快く引き受けてくださり、詳細な御検討と、有益な御示唆、そして論文の構成についての貴重な御教示を賜った末石富太郎滋賀県立大学名誉教授に謹んで謝意を表します。そして、研究の遂行上有益なご討議と示唆を賜りました環境計画学科諸先生方に深く謝意を表します。また現地調査を遂行するにあたって、有益な御助言をいただいた人間文化学部生活文化学科山根周助手に深く謝意を表します。

本研究は現地調査の結果を元にまとめたものが中心であり、その過程において数多くの人々から多くの御協力をいただきました。2000 年度の調査では、初めて立つヴァラナシの地で、戸惑う私を、共同調査という形で助けてくださった京都大学大学院工学研究科博士後期課程柳沢究氏に心より感謝しております。貴重な御助言を賜るとともに、調査の基本を学ばせていただきました。さらに 2001 年度の調査では、ベナレス・ヒンドゥー大学（BHU）文学部外国語学科講師の杉本昭男氏にヒアリングの通訳から、私の病気の世話まで、公私にわたり大変お世話になりました。アキオ JI のおかげでヴァラナシの深部に触れることができました。深く謝意を表します。また、快くヒアリング調査に応じてくださったダルマクープ地区の住民の方々、サミティのリーダーの方々に心より感謝いたします。

二年間の研究室在籍中に、多くの先輩、同輩、後輩にめぐり合うことができました。この場をかりて感謝いたします。とくに研究室の昨年度ゼミ生、そして本年度ゼミ生である近藤紀章氏・津賀高幸氏・平野晶子氏・鈴木麻子氏・曽根真紀氏・佐々木和之氏には様々な形で協力していただきました。心より感謝します。また、研究室の同輩である守谷光平氏の存在は、他大学から来た私にとって、この上なく心強いものであり、なにより心の置けない存在であります。深く深く感謝します。

そして、私が無事研究を終えられるのも、佐和達児氏を始め、私の周りのろくでもない友人達のおかげでもありました。親愛の意を込めて謝意を表します。

最後に、私事になりますが、調査だといっては自由奔放に飛びまわっている私を、常にあたたかく見守ってくれている両親とよき理解者である弟に深甚なる謝意を表します。「アリガトウ」。

ihNdU >aGavaNa k ae , iJaNa Sae MaE& Nae iMaLaa oNa Sa>aI laeGae& k ae ,

ヒンドゥーの神々と、私に関わって下さった全ての人々に、

idl Sae bhuTa bhuTa DaNYavad)

心より感謝いたします

2002 年 3 月

iXa&Gae haiXaMaaTaae